

令和 6 年度 学 習 の 手 引 き

教科名	国語	年次	1学年	使用教材	教科書 言語文化(大修館書店) 常用漢字の1・2トライ(浜島書店)
科目名	言語文化	必修	単位	2	

科目の目標

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習方法

- ①事前に指示された予習等の課題に取り組んだ上で授業に臨みましょう。授業には積極的に参加し、分からない部分があれば質問をしましょう。
- ②話し合いやグループワークを通じて、自分の考えを深めるとともに、他者の視点から自分を客観的に認識できることを目指しましょう。
- ③辞書や便覧などを活用して、意味や使い方が分からない語句は必ず調べ、調べた語句はノートに書き記しましょう。また、指示された予習のほか、授業で学んだ範囲の復習を必ず行いましょう。
- ④漢字の小テストや長期休業明けの課題テストなどに向けた学習にしっかりと取り組むとともに、本や新聞、雑誌など様々な分野の文章を読み、読解力を養成しましょう。

評価の観点

次の観点に基づき、単元または内容のまとまりごとに評価を行います。前期末にはそれらを総括して評価を行います。学年末は1年間を総括して評定を出します。

評価の観点		評価の観点の趣旨
①	知識・技能	言葉の特徴や使い方に関する次の事項が身に付いたか。(・言葉のもつ、文化の継承、発展、創造を支える働き。・常用漢字の読み書きに習熟し、文や文章の中で使うこと。・我が国の特徴的な語句についての理解と、豊かな語感、語彙。) ・文章の意味が、文脈の中で形成されることへの理解。
②	思考・判断・表現	適切な題材を決め、書きたいことが明確であるか。自分の体験や思いが効果的に伝わるよう表現の仕方に工夫があるか。作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容が理解できているか。作品や文章に触れることで、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、自分の考えをもつことができたか。
③	主体的に学習に取り組む態度	国語や言語文化への関心を深め、進んで表現したり理解したりしようとしているか。

評価方法

評価方法\観点	①	②	③	備 考
授業内の活動への参加状況			◎	発言や取り組みの内容
スピーチ・グループ発表		◎	○	内容、発表の仕方
作文・プリント等への取り組み	○	○	◎	内容、見やすさ、わかりやすさ
単元テスト、小テスト	◎	◎	○	内容、理解度

◎特に重視する点

主体的に学習に取り組む態度を重視します。分からないことは積極的に質問しましょう。ノートやプリント作業など、努力して取り組める活動を大切にしましょう。

評定への総括

評語	評価	評定
A A A	10	5
A A B	9	
A B B	8	4
A A C	7	
B B B	6	3
A B C	5	
B B C	4	2
A C C	3	
B C C	2	
C C C	1	1

内容のまとまりごとの評価規準

科目名:言語文化

評価の観点 内容のまとまり		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	話す・聞く	話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使用している。	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。	積極的に学習課題に沿って表現の工夫をしたり、話したり聞いたりする活動を行い、適切な評価を行おうとしている。
2	書くこと	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力があり、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	目的や意図に応じて適切な内容や形式について粘り強く選び、表現する中で、自らの学習を調整しようとしている。
3	読むこと	主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係や情報の妥当性、信頼性の吟味の仕方について理解している。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化について理解している。	目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	文章の内容を的確にとらえ、学習課題に沿って理解しようと進んで取り組んでいる。
4				
5				
6				
7				
8				

年間指導計画

教科(国語)学年(1)

科目(言語文化)

総時数 書:10h 読:60h(近:20,古:19,漢:21)

履修形態(必修)

單位(2)

学期	時	単元名 (内容のまとまり)	教材 題材	主な学習内容	育成する 資質・能力	主な評価方法	評価の 観点		
							①	②	③
前	5h	言語文化への視点 読むこと(近5h)	世界を見わたす窓 常用漢字の1・2トライ(浜島書店)	・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。 ・言語がその国や地域などの文化と強く結びついていること。 ・社会経済のグローバル化によって、消えていく小さな言語があること。	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・グローバルカルカ ・思考力 ・判断力 ・寛容力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト			○
	12h	古文に親しむ 読むこと(古10h) 書くこと(2h)	宇治拾遺物語 常用漢字の1・2トライ(浜島書店)	・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。 ・古文の文体や仮名遣いに慣れること。 ・時代を隔てた先人が残した文章をととして、現代にも通じる普遍的な感情や価値観があること。 ・作中人物の視点から語る小話を書く。	・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・思考力 ・判断力 ・自己指導力 ・コミュニケーション力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト			○
	9h	言葉の紡ぐ世界 読むこと(近7h) 書くこと(2h)	羅生門 常用漢字の1・2トライ(浜島書店)	・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。 ・登場人物の言動を精査し、その心情を読み取ること。 ・作品の構成や展開を捉えること。 ・感想文を書く。	・発見力 ・学ぶ力 ・思考力 ・判断力 ・表現力	授業内の活動への参加状況 スピーチ・グループ発表 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト			○
	15h	漢文に親しむ 読むこと(漢15h)	私たちと漢文 論語 孟子 常用漢字の1・2トライ(浜島書店)	・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。 漢文や漢字が日本語や日本文化に与えた影響を知り、現代の言語生活にもつながるものであること。 ・漢文訓読のきまりを理解し、その口調やリズムに親しむこと。 ・孔子や孟子の名言に親しみ、現代との関わりについて考えること。	・発見力 ・学ぶ力 ・グローバルカルカ ・寛容力 ・自己指導力 ・コミュニケーション力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト			○
後	6h	表現の多様性 読むこと(近4h) 書くこと(2h)	夢十夜 常用漢字の1・2トライ(浜島書店)	・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。 ・登場人物の言動を精査し、その心情を読み取ること。 ・作品の表現に注目し、作者によって描かれた世界観を味わうこと。 ・感想文を書く	・発見力 ・学ぶ力 ・グローバルカルカ ・思考力 ・表現力 ・自己指導力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト			○
	9h	旅と人生 読むこと(古9h)	土佐日記 常用漢字の1・2トライ(浜島書店)	・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。 ・古文を読むために必要な語彙や文法事項。 ・作品に表現されている歴史的、文化的背景について。	・発見力 ・学ぶ力 ・行動量 ・グローバルカルカ ・思考力 ・判断力 ・自己指導力	授業内の活動への参加状況 スピーチ・グループ発表 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト			○
	6h	文学と人生 読むこと(近4h) 書くこと(2h)	セメント樽の中の手紙 常用漢字の1・2トライ(浜島書店)	・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。 ・作品の時代背景と登場人物との関係。 ・登場人物の言動を精査し、その心情を読み取ること。 ・女工への返事の手紙を書く。	・発見力 ・学ぶ力 ・行動量 ・グローバルカルカ ・思考力 ・判断力 ・自己指導力	授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト			○
	8h	現代に生きる言葉 読むこと(漢6h) 書くこと(2h)	蛇足 臥薪嘗胆 常用漢字の1・2トライ(浜島書店)	・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。 ・故事成語の意味や背景について理解を深める。 ・故事成語を創作する。		授業内の活動への参加状況 作文・プリント等への取り組み 単元テスト・小テスト			○

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・寛容力
科目名		言語文化	教材 題材	世界を見わたす窓 常用漢字の1・2ト ライ(浜島書店)		
単位数		2				
単元名		言語文化への視点				
内容のまとめ		読むこと(近5h)				
単元の目標		知識・技能 ・文章の意味が、文脈の中で形成されることを理解すること。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。	思考・判断・表現 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈すること。	主体的に学習に取り組む態度 ・言葉が持つ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとすること。		
単元の学習内容		・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。				
単元の学習内容		・言語がその国や地域などの文化と強く結びついていること。				
単元の学習内容		・社会経済のグローバル化によって、消えていく小さな言語があること。				
単元の評価規準		知識・技能 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係や情報の妥当性、信頼性の吟味の仕方について理解している。 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化について理解している。	思考・判断・表現 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	主体的に学習に取り組む態度 文章の内容を的確にとらえ、学習課題に沿って理解しようと進んで取り組んでいる。		
主な評価方法	授業内の活動への参加状況				○	
	作文・プリント等への取り組み	○	○		○	
	単元テスト・小テスト	○	○			
配当時間		5時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修		
科目名		言語文化	教材 題材	宇治拾遺物語 常用漢字の1・2ト ライ(浜島書店)	育成する 資質・能力	・学ぶ力 ・探究力 ・行動量 ・思考力 ・判断力 ・自己指導力 ・コミュニケーション力
単位数		2				
単元名		古文に親しむ				
内容のまとめ		読むこと(古10h) 書くこと(2h)				
単元の目標		知識・技能 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。	思考・判断・表現 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりすること。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりすること。	主体的に学習に取り組む態度 ・説話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取るうとすること。 ・古文の説話と現代のさまざまな文化とのつながりを理解しようとする。		
単元の学習内容		・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。 ・古文の文体や仮名遣いに慣れること。 ・時代を隔てた先人が残した文章をととして、現代にも通じる普遍的な感情や価値観があること。 ・作中人物の視点から語る小話を書く。				
単元の評価規準		知識・技能 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係や情報の妥当性、信頼性の吟味の仕方について理解している。 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化について理解している。	思考・判断・表現 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	主体的に学習に取り組む態度 文章の内容を的確にとらえ、学習課題に沿って理解しようと進んで取り組んでいる。		
主な 評価 方法	授業内の活動への参加状況					○
	作文・プリント等への取り組み	○		○		○
	単元テスト・小テスト	○		○		
配当時間		12時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修		
科目名		言語文化	教材 題材	羅生門 常用漢字の1・2ト ライ(浜島書店)	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・思考力 ・判断力 ・表現力
単位数		2				
単元名		言葉の紡ぐ世界				
内容のまとめ		読むこと(近7h) 書くこと(2h)				
単元の目標		知識・技能 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。	思考・判断・表現 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を理解すること。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。	主体的に学習に取り組む態度 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとすること。		
単元の学習内容		・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。 ・登場人物の言動を精査し、その心情を読み取ること。 ・作品の構成や展開を捉えること。 ・感想文を書く。				
単元の評価規準		知識・技能 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係や情報の妥当性、信頼性の吟味の仕方について理解している。 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化について理解している。	思考・判断・表現 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	主体的に学習に取り組む態度 文章の内容を的確にとらえ、学習課題に沿って理解しようと進んで取り組んでいる。		
主な評価方法	授業内の活動への参加状況			○		
	スピーチ・グループ発表	○	○	○		
	作文・プリント等への取り組み	○	○	○		
	単元テスト・小テスト	○	○			
配当時間		9時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・グローバル力 ・寛容力 ・自己指導力 ・コミュニケーション力
科目名		言語文化	教材 題材	私たちと漢文		
単位数		2		論語		
単元名		漢文に親しむ		孟子		
内容のまとめ		読むこと(漢15h)		常用漢字の1・2ト ライ(浜島書店)		
単元の目標		知識・技能 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。	思考・判断・表現 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景などを踏まえ、内容の解釈を深めること。	主体的に学習に取り組む態度 ・儒教思想に興味を持ち、先人の言動からその思想を読み取ること。 ・中国古典から先人が学び現代につながっている文化を理解すること。		
単元の学習内容		・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。 漢文や漢字が日本語や日本文化に与えた影響を知り、現代の言語生活にもつながるものであること。 ・漢文訓読のきまりを理解し、その口調やリズムに親しむこと。 ・孔子や孟子の名言に親しみ、現代との関わりについて考えること。				
単元の評価規準		知識・技能 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係や情報の妥当性、信頼性の吟味の仕方について理解している。 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化について理解している。	思考・判断・表現 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	主体的に学習に取り組む態度 文章の内容を的確にとらえ、学習課題に沿って理解しようと進んで取り組んでいる。		
主な 評価 方法	授業内の活動への参加状況				○	
	作文・プリント等への取り組み	○		○	○	
	単元テスト・小テスト	○		○		
配当時間		15時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修		
科目名		言語文化	教材 題材	夢十夜 常用漢字の1・2ト ライ(浜島書店)	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・グローバル力 ・思考力 ・表現力 ・自己指導力
単位数		2				
単元名		表現の多様性				
内容のまとめ		読むこと(近4h) 書くこと(2h) 0				
単元の目標		知識・技能 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。	思考・判断・表現 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。	主体的に学習に取り組む態度 ・作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読もうとすること。		
単元の学習内容		・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。 ・登場人物の言動を精査し、その心情を読み取ること。 ・作品の表現に注目し、作者によって描かれた世界観を味わうこと。 ・感想文を書く				
単元の評価規準		知識・技能 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係や情報の妥当性、信頼性の吟味の仕方について理解している。 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化について理解している。	思考・判断・表現 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	主体的に学習に取り組む態度 文章の内容を的確にとらえ、学習課題に沿って理解しようと進んで取り組んでいる。		
主な 評価 方法	授業内の活動への参加状況					○
	作文・プリント等への取り組み	○	○			○
	単元テスト・小テスト	○	○			
配当時間		6時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・行動量 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・自己指導力
科目名		言語文化	教材 題材	土佐日記		
単位数		2		常用漢字の1・2ト ライ(浜島書店)		
単元名		旅と人生				
内容のまとめ		読むこと(古9h)				
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。		・学習の見通しをもって、作品に描かれた古人の旅について作品を読み味わうことをとおして、当時のならわしについて知り、旅について作品を読み味わうことをとおして、当時のならわしについて知り、旅について書かれた日記の意義について考えようとすること。	
単元の学習内容		・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。				
		・古文を読むために必要な語彙や文法事項。				
		・作品に表現されている歴史的、文化的背景について。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
		主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係や情報の妥当性、信頼性の吟味の仕方について理解している。 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化について理解している。	目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。		文章の内容を的確にとらえ、学習課題に沿って理解しようと進んで取り組んでいる。	
主な 評価 方法	授業内の活動への参加状況					○
	スピーチ・グループ発表			○		○
	作文・プリント等への取り組み	○		○		○
	単元テスト・小テスト	○		○		
配当時間		9時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・行動量 ・グローバル力 ・思考力 ・判断力 ・自己指導力
科目名		言語文化	教材 題材	セメント樽の中の 手紙 常用漢字の1・2ト ライ(浜島書店)		
単位数		2				
単元名		文学と人生				
内容のまとめ		読むこと(近4h)				
		書くこと(2h)				
単元の目標		知識・技能 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。	思考・判断・表現 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈すること。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえ、内容の解釈を深めること。	主体的に学習に取り組む態度 ・作品に興味をもち、時代背景と登場人物との関係を理解したり、会話文や手紙から登場人物の状況や心情を理解する学習に、意欲的に取り組むこと。		
単元の学習内容		・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。				
		・作品の時代背景と登場人物との関係。				
		・登場人物の言動を精査し、その心情を読み取ること。				
		・女工への返事の手紙を書く。				
単元の評価規準		知識・技能 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係や情報の妥当性、信頼性の吟味の仕方について理解している。 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化について理解している。	思考・判断・表現 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	主体的に学習に取り組む態度 文章の内容を的確にとらえ、学習課題に沿って理解しようと進んで取り組んでいる。		
主な 評価 方法	授業内の活動への参加状況				○	
	作文・プリント等への取り組み	○		○	○	
	単元テスト・小テスト	○		○		
配当時間		6時間				
補足等						

単元の計画

教科名		国語	対象学年・生徒	1学年 必修	育成する 資質・能力	
科目名		言語文化	教材 題材	蛇足		
単位数		2		臥薪嘗胆		
単元名		現代に生きる言葉		常用漢字の1・2ト ライ(浜島書店)		
内容のまとめ		読むこと(漢6h) 書くこと(2h)				
単元の目標		知識・技能 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。	思考・判断・表現 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景などを踏まえ、内容の解釈を深めること。	主体的に学習に取り組む態度 ・中国古典から先人が学び現代につながっている文化を理解すること。		
単元の学習内容		・常用漢字を中心とした漢字の読み書き。				
		・故事成語の意味や背景について理解を深める。				
		・故事成語を創作する。				
単元の評価規準		知識・技能 主張と論拠、個別の情報と一般化された情報との関係や情報の妥当性、信頼性の吟味の仕方について理解している。 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化について理解している。	思考・判断・表現 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	主体的に学習に取り組む態度 文章の内容を的確にとらえ、学習課題に沿って理解しようと進んで取り組んでいる。		
主な評価方法	授業内の活動への参加状況				○	
	作文・プリント等への取り組み	○		○		○
	単元テスト・小テスト	○		○		
配当時間		8時間				
補足等						